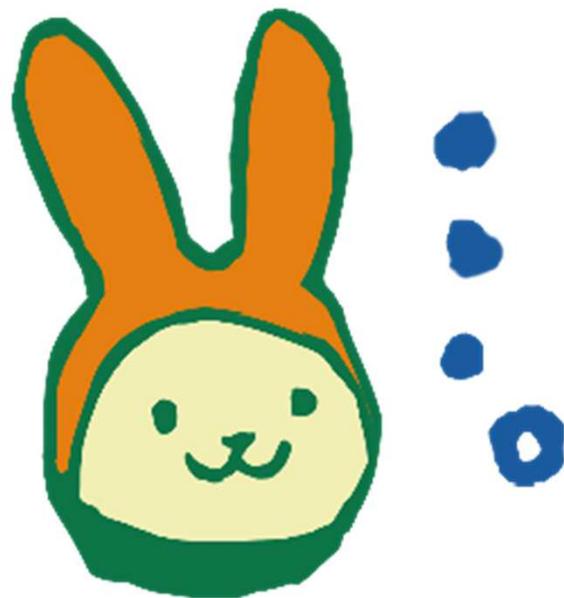


「第21回環境展」特別企画



法政大学をアイデアで救おう。

Let's rescue "HOSEI" through your Idea.



応募された方にはえこびょん特製エコバッグとお著を進呈します。

地球環境問題の解決に向けた「行動バイアス」を乗り越えるアイデア大募集

募集期間:2020年8月31日(月)~2020年10月16日(金)

法政大学環境センターホームページにて応募要領を確認してください。

法政大学環境センター



「第21回環境展」においては、特別企画として「法政大学EMS」における学生の参画の拡大を目指して、主に「環境目的・目標」の達成に向けた合理的な意思決定や行動を妨げる「行動バイアス」を乗り越えるアイデアを大募集致します。

「行動バイアス」の代表例

その1. 「面倒」でついついという感覚

食事後に一つ一つ分別廃棄することが面倒かも。



その2. わかってはいるけど、「うっかり忘れてしまう」

長期休暇中に電子機器のプラグを抜いたり、省エネモードに設定することを忘れる。



その3. 個人的な「嗜好」



紙資料の方がなんとなく好き。

その4. キャンパスライフにおける優先順位

授業や課外活動で忙しくて地球環境問題について気にしたことがなかった。



その5. 各種制約のため、なかなか...



時間も、健康も気になってなかなか...

その6. 時間を気にせずに施設設備・実験機器を起動して研究したい



昼も夜も研究したいけど地球環境問題も深刻よね...

The Special program of
The 21th HOSEI Environmental Exhibition 2020

地球環境問題の解決に向けた「行動バイアス」を乗り越えるアイデアの募集結果を発表致します。

【取組結果】

地球温暖化対策・エネルギー使用量の削減	2件
一般廃棄物排出量の削減	6件
省資源の推進	0件
グリーン購入の推進	1件
生物多様性の保全	0件
合計	9件



分別



高井 一帆

(経営学部経営学科 4年)

取組分野:2)一般廃棄物排出量の削減

地球環境問題の解決に向けた「行動バイアス」を乗り越えるあなたの「アイデア」を教えてください。

ごみの分別を進めることで一般廃棄物排出量の削減を目指します。ごみの分別は、まずごみをどう分ければいいのかわからず面倒だとよくいわれています。それならば、ごみの分別は面倒なものという先入観を変えるため、実際の写真を例にして簡潔に分別を促せば良いのではと考えました。

あなたの「アイデア」はどのように実現できると考えますか。

例えば、ペットボトルをキャップ、ラベル、本体に分けた例を写真で示し、ごみ箱の上に貼っておきます。お弁当のごみなどもどのように分別したらいいのかを示し、毎回考えなくても分別できるようにすれば取り組んでくれる人が増えるのではないのでしょうか。



その1、「面倒」でついついという感覚

食事後に一つ一つ分別廃棄することが面倒かも。



吉田 友実

(現代福祉学部福祉コミュニティ学科 4年)

取組分野:2)一般廃棄物排出量の削減

地球環境問題の解決に向けた「行動バイアス」を乗り越えるあなたの「アイデア」を教えてください。

レジ袋が7月から有料化されたことにより、買い物でレジ袋を貰わない(買わない)人が増えました。私もスーパーに行くときにはマイバッグを持参しています。しかし、外出時に売店で昼食を買って食べる時は、飲食後のゴミを入れる袋が無いと不便に感じます。そのため、「いらないかもしれない」と思っても「念のため」とレジ袋を貰ってしまいます。

ゴミを分別して廃棄するまでしか使わないのであれば、新品のレジ袋を買う必要はありません。大学や事業所の周辺ではトレイ等をシェアして繰り返し使えるようにして、ゴミを持ち帰る必要がある場合には環境にやさしい袋を使えるようにすれば、無理なく資源の無駄遣いを減らせるのではないかと思います。

あなたの「アイデア」はどのように実現できると考えますか。

大学を中心に、周辺のコンビニエンスストアや生協店舗の担当者を巻き込んで議論をしていくことが大切だと思います。トレイの設置や管理には費用や労力がかかるので、商品を売る側と買う側がバランスよく負担しながら、行動を長続きさせられるようなしくみを考える必要があると考えます。また、環境にやさしい袋の導入は複数の大学店舗で行えるよう調整することで、コストを抑制しながら取り組みを広げていけると考えます。



<p>その1. 「面倒」でつついという感覚</p>  <p>食事後の一つ一つ分別廃棄することが面倒かも。</p>	<p>その3. 個人的な「嗜好」</p>  <p>紙資料の方がなんとなく好き。</p>	<p>その5. 各種制約のため、なかなか...</p>  <p>時間も、健康も気になってなかなか...</p>
---	--	--

石橋 拓人

(人間環境学部人間環境学科 4年)

取組分野: 2)一般廃棄物排出量の削減



地球環境問題の解決に向けた「行動バイアス」を乗り越えるあなたの「アイデア」を教えてください。

生ごみの排出量を減らせない原因の行動バイアスには面倒であったり、臭いや汚れが気になるのですぐにでもゴミ箱に入れてしまいたくなると思います。そしてそれらは燃えるごみとして出され一般家庭廃棄物として加算されます。しかし、一般家庭ごみの約3割を占める生ごみを減らすことは非常に重要なことであり、各家庭にバイオ式の生ごみ処理機(コンポスト)を置くことで生ごみの削減に近づくことができます。コンポストとは微生物の含まれた堆肥の中に生ゴミを入れることで堆肥に分解させ、生ごみを自家処理できる堆肥です。分解後の堆肥は栄養豊富であり家庭菜園の肥料として使うことができ、堆肥で生ごみを覆うので悪臭の心配もありません。コンポストを拡大することで一般家庭ごみの発生を抑えるだけでなく、肥料としても有効活用でき、さらには生ごみを外に持ち出さないことでゴミ置き場やゴミ収集車で発生する悪臭を軽減する公害対策にもなるのでまさに一石三鳥です。

あなたの「アイデア」はどのように実現できると考えますか。

コンポストの導入には政府、自治体の協力が不可欠だと考えます。コンポストは毎日発生する生ごみを入れられるような大きさを選ぶと数万円とコストがかかり購入意欲が湧かないと思われます。一般ごみの発生が少ない自治体ではコンポストの購入に助成金を出しているところもあり、中には5000円ほどで購入できる自治体もあります。そのため、住民の方々が手軽に購入できる価格になるように行政が補助する必要があり、あとは知名度が高くないところも多いので宣伝にも注力することで生ごみ削減を実現できると考えています。住民の方々にできることとしては自身の住む自治体で助成金を出しているか調べることから始めてみるのも有効だと思います。



その1、「面倒」でついついという感覚

食事後に一つ一つ分別廃棄することが面倒かも。



藤谷 美希歩

(国際文化学部国際文化学科 3年)

取組分野: 2) 一般廃棄物排出量の削減

地球環境問題の解決に向けた「行動バイアス」を乗り越えるあなたの「アイデア」を教えてください。

マイ箸を持ち歩くのが面倒で、コンビニや生協でお弁当を買った際に割り箸をもらってしまふという「行動バイアス」を乗り越えるために、マイ箸スタンプカードを導入する。

あなたの「アイデア」はどのように実現できると考えますか。

お弁当などを購入した際に「割り箸いりません」と断ったら1スタンプで、スタンプがたまったら割引券と交換できる。



その1、「面倒」でついついという感覚

食事後に一つ一つ分別廃棄することが面倒かも。





藍原 楓

(社会学部メディア社会学科4年)

取組分野: 2) 一般廃棄物排出量の削減

地球環境問題の解決に向けた「行動バイアス」を乗り越えるあなたの「アイデア」を教えてください。

【学内限定のアイデア】

- ① 大学内のゴミの総量に合わせて打ちあがるLED花火
- ② ペットボトル軌道を可視化するダンクシュート
- ③ ルンバ型ごみ箱

あなたの「アイデア」はどのように実現できると考えますか。

- ① 各キャンパス内で1日に捨てられるゴミの総重量が規定(〇kg以下、〇kg～〇kgなど)以内に収まった場合、その重さに合わせて花火型に特設されたLEDライトが決められた時間以降に光り出す。各ごみ箱に重りを設置し規定時間になったら重さが遠隔で確認できる仕組みを導入、もしくはゴミ回収の荷台で重さを測定。結果に合わせ規定時間以降に花火型のLEDが根本部分から点灯されていく。設定重さとの差異が大きいほど花火は咲かず、打ちあがる道中で電気が止まる。ゴミ総量を可視化させ日の沈みが早い冬に合わせたイベントで、大学内で過ごす間にどれだけのゴミが出ているかを認識させることができ花火の開花という目標に合わせ安易にゴミを出さない意識付けに繋がる。(花火開花に必要な規定総量は学生にも伝わるように告知が必要。何週間か展示をするなら日毎の開花様子を写真に収め、最終日に浴衣のイラストと一緒に一気に写真を公開するとより面白い。)
- ② 日本科学未来館の常設にある天井からマッピングシステムによって軌跡を辿る展示を参照。特定の状態(ペットボトルのラベルを剥がした状態など)のみに反応する仕組みを作り、特設のごみ箱に投げ入れた時に投げた場所からごみ箱までの軌道を可視化する。ゴミを捨てるという一動作に時間をかけさせ、少し乱暴だが丁寧にゴミを捨てさせる習慣を遊び心と一緒に体験してらもうもの。
- ③ ラジコン型ごみ箱の類似品。ルンバのようなタイヤ付き衝突回避センサーを搭載した機会の上にごみ箱を乗せ、自動で階層内を闊歩するごみ箱。人がごみ箱に近づくのが面倒でポイ捨てをするのならごみ箱自体が人に近づけば良いという考え。自然光、室内光によって充電される仕組みを利用すれば人が建物内にいる間は稼働し続ける。

その1.「面倒」についてという感覚

食事後に一つ一つ分別廃棄することが面倒かも。



森田 落子

(現代福祉学部福祉コミュニティ学科 4年)

取組分野:2)一般廃棄物排出量の削減

地球環境問題の解決に向けた「行動バイアス」を乗り越えるあなたの「アイデア」を教えてください。

日本は世界的にも廃棄物排出量が多い国です。中でも問題視されている「プラスチック」に関しては、廃棄量世界第2位といったデータもあります。

そこで、「プラゴミ」を出さないために「マイバック」や「マイボトル」の持参に心がけてもらいたいです。

若い世代、私達学生ならではの楽しみもそこにはあると思っています。それはおしゃれです。マイバックやマイボトル、様々な面で「my」があれば自分オリジナルのものを身につけるということで、個性がありおしゃれだなと私は感じています。

この行動は荷物は増えるかもしれませんが、ゴミは増えません。廃棄物減量に繋がると共に、様々なマイカラーを見たいものです。

あなたの「アイデア」はどのように実現できると考えますか。

「プラゴミ排出量世界第2位」というフレーズを見て驚かない人はいないと思います。このフレーズにインパクトをつけることによって廃棄物排出量の削減につながると思います。その時に頭の吹き出しから「my～」が浮かんで欲しいなと思います。

ファッションの一部として取り入れ、エコとおしゃれの両立を実現してもらいたいです。



ステンレスボトル

その1、「面倒」でつついという感覚

食事後に一つ一つ分別廃棄することが面倒かも。



役田 泰江



(経営大学院イノベーション・マネジメント研究科イノベーション・マネジメント専攻)

取組分野: 1) 地球温暖化対策・エネルギー使用量の削減

地球環境問題の解決に向けた「行動バイアス」を乗り越えるあなたの「アイデア」を教えてください。

コロナの影響で、原則、オンライン授業が学習となり、自宅で過ごす各段に時間が増えた。在宅で過ごすため、職場や学校と異なり、室温管理等は行われておらず、感覚の赴くまま、家電に依存する振る舞いが増えている。例えば、扇風機やエアコンの長時間稼働や消し忘れなどが挙げられる。

このような状況下で、環境に配慮しつつ、快適に過ごすためのアイデアを3点提案する。

- 1) 使用していない部屋は、日中でも窓とカーテンを閉めておく。室内温度の上昇が抑えられるため。気になる彩光や換気の点は、使用している部屋の換気時に全ての部屋の窓を開け放せば大丈夫。
- 2) 建物の立地や条件に左右されるが、時間帯によって、涼しい(過ごしやすい)部屋が 変わるため、居場所を変更する。
- 3) 快適温度は人によって異なる。エアコンの温度設定は28℃を推奨されているが、自分の体感温度を徐々にコントロールしていくことが大切。気温に体を慣らすことで、設定温度を低くしすぎることを回避できる。

あなたの「アイデア」はどのように実現できると考えますか。

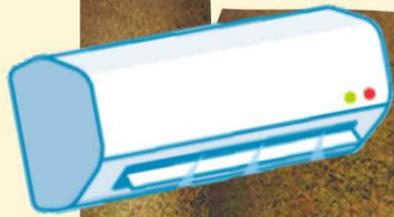
- 1)と2)は、各自の在宅環境により異なるため、各自が試行錯誤して自宅での快適な過ごし方を見出すしかないが、一度、行動パターンを少し変えて生活してみることで、快適さの体感比較することができ、実践は、コツさえつかめれば自然と快適な場所で過ごすことを選択していくようになります。
- 3) エアコンの機能に、最適温度設定機能(例:28℃)と徐々に設定温度を上げていく機能を付ける。28℃に慣れたら、最適温度を1℃上げて慣れていくことも可能。IoTで家電とスマホが連携することで、特定の温度制御が容易となり、実現可能かと考えます。なお、AIで自動温度調整があるかと思いますが、現在のAIでは、個々の体を暑さ慣らししていくという発想ないように考えます。



その2. わかってはいるけど、「うっかり忘れてしまう」

長期休暇中に電子機器のプラグを抜いたり、省エネモードに設定することを忘れる。





佐々木 萌香

(人間環境学部人間環境学科 4年)

取組分野: 1) 地球温暖化対策・エネルギー使用量の削減



地球環境問題の解決に向けた「行動バイアス」を乗り越えるあなたの「アイデア」を教えてください。

大学構内で使用される電力量を減らすために、IT技術も活用していくことが重要だと考えます。具体的にはエアコン温度の適正化です。市ヶ谷校舎では15,843名の学生(2019年度)が快適に勉強できるよう、夏や冬は空調が稼働しています。しかしこの空調が教室を過度に冷やしていたり、温めていたことがあります。これはエネルギーの過剰使用にも繋がると考えます。

あなたの「アイデア」はどのように実現できると考えますか。

大講義室では授業中に設定温度を変えてくださいと発言する事は困難です。このため、自分がいる教室内の空調に対して極端に寒い、極端に暑いと感じた場合は、アプリを通して自分のいる教室と、温度への意見を管理室へ伝えることができ、温度変更への意見が多ければ管理室から柔軟に変更するという仕組みがあるとより快適に授業を受けられ、そして省エネにも繋がると考えます。学習支援システムのクリッカー機能を応用しても良いのではと考えます。



その3. 個人的な「嗜好」



紙資料の方がなんとなく好き。



佐藤 奈智

(理工学部機械工学科 3年)

取組分野: 4) グリーン購入の推進

地球環境問題の解決に向けた「行動バイアス」を乗り越えるあなたの「アイデア」を教えてください。

私が注目する『行動バイアス』は自分だけがエコバッグ使っても、自分だけがマイボトル持っても結局地球環境問題にはそれほど影響がない。と言う思考(バイアス)です。私はその行動の原因は一人一人が自分の行動が社会や地球環境にどのように作用するのかを理解していないからだと感じます。そのためグリーン購入を推進するためには環境に優しい製品を作り提供するだけでなく、環境に優しい買い物をすると何が起こるのか、どんな人やどんな地域に喜ばれるのかといった考え方も消費者に提供することが推進につながると考えます。そこで私のアイデアは店内にその商品の環境に対しての魅力を全面的にアピールすることが一つ。さらにエコな商品を購入した際はレジで自動的に感謝の言葉が流れるようにするというのが二つ目のアイデアです。どちらも消費者に環境に対して優しい選択をしたことを認識させることができ、お互いに優しい気持ちになり自然と関心が高くなり良い循環ができるのではないかと考えます。

あなたの「アイデア」はどのように実現できると考えますか。

まずは一番身近な場所で言うと大学の中にある購買やコンビニエンスストアで学生が上記のアイデアを取り入れてみます。そこである程度の期間の売上や買った人の気持ちをアンケートや統計によって整理し、それが良い結果であれば大学側にその結果を伝えより大きな企業や国にこの案件を提案します。そして最終的に国が採用してくれれば必ず世の中が変わると思います。前よりもこの国に環境や他の人々を思いやり選択をできる人が増え、結果としてそれが”日本らしさ”や”日本の良さ”として世界に認識されればとても素晴らしいことだなと考えました。

